

案件名「垂水市教育振興基本計画(案)」

NO	ページ番号	意見等の概要	市の考え方
1	4	学校維持に欠かせない生徒数を増やしていく抜本的な対策等の記載がないが、どう考えているのか。また、学力以外の社会生活なども学ぶところが学校であると考え、対策等を記載することが必要ではないか。	魅力ある学校づくりを推進するとともに、情報発信に努めてまいります。また、日常生活におけるルールやマナー等については、今後も家庭や地域と連携して、教育活動全体を通して指導してまいります。
2	8	市内7校が小規模・複式校となって、今後ますます児童の減少が予想される中、「学校規模の適正化」に向けた考えを明らかにする必要はないでしょうか。	小規模、複式校のよさを生かした教育活動を推進するとともに、今後も、地域・保護者の声を真摯に受け止めてまいります。
3	9	「継続して思考力、判断力、表現力等に課題がある状況です。」とあるが、この点に関する原因分析が必要ではないでしょうか。	子どもたちの書く活動や対話活動をさらに充実させ、思考力・判断力・表現力等の向上に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現に努めてまいります。
④	17	学習障害や注意欠陥多動性障害の「障害」は、英語でLD、ADHAと書くのが一般的では。高機能自閉症という診断名はなくなり、自閉症スペクトラムとなっているのではないのでしょうか。	一般的な表現に修正します。
⑤	18	体格についての説明で「ほぼ同様の傾向を示しており」とあるが、これは何を指しているのか。	よりわかりやすい表現に修正します。
6	19	地域のための学校、学校のための地域となるように、学校教育と社会教育が相互に連携を図り、地域創生のための「地域学校協働活動」の取り組みをさらに推進してほしい。	従来の、「たるみず学校応援活動」が令和2年度より「たるみず地域学校協働活動」と名称が変更されますが、これまでの「学校応援活動」の取り組みは活発であり、地域住民との交流や地域の活性化に資するものであると高い評価を得ています。今後も担当者レベルでの会議を通じて、活動内容の充実に努めてまいります。
⑦	21 54	後のページに出てきますが、業務改善について、「家庭・学校・地域がそれぞれの役割を十分に果たし」と関連付けてはどうでしょうか。	「Ⅲ-②学校運営の充実」において、関連付けた表現にします。
8	25	P25の「信頼され、地域とともにある学校づくりの推進」やP54の「学校運営の充実」との関わりで、今後、学校評議員会もとてもよいが、文部省が掲げる「学校運営協議会」の導入についても検討されてみてはどうでしょうか。	今後、検討してまいります。
9	26	日本遺産に認定された垂水の麓武家屋敷群や垂水島津家関連の文化財の保護・活用について、具体的な活用方法を記述してほしい。	垂水市の日本遺産「薩摩の武士が生きた町」につきましては、現在、県と9市町村及び民間関係者で組織する、「日本遺産 薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会を設立し、令和元年度から3カ年計画で各種事業を取り組んでおります。 また、「垂水島津家墓所」につきましては、令和2年2月下旬の国の「告示」を待って正式に国指定と史跡となりますことから、今後の保護・活用につきましては「垂水市文化財保護審議会」に諮りながら取り組んでまいります。いずれも、今後も具体的な保護・活用については広報活動を積極的に行い、市民の理解を図ってまいります。
10	26	社会人教育の重要性は強まっている中、子ども・大人含めての教育振興計画となっているが、実態としては子どもの教育振興計画であると思うので、無理に子ども・大人含めての教育振興計画にする必要はないのではないのでしょうか。	「V生涯を通じて学び活躍できる環境づくり」の基になる理念は「生涯学習社会」の実現であり、教育基本法第3条においても、その定義として「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされており、つまり、生涯学習とは、市民が生涯にわたって行う学習活動のことです。これにより、教育委員会が進める「生涯学習」の各種事業は、あらゆる年代を対象とした施策となります。
11	34	新小学一年生へのセカンドブック事業、そして県内初の中学一年生へのサードブック事業等、今後も、子どもたちの読書活動が推進されたい。	従来の乳児を持つ保護者への絵本を配布する既存の「ブックスタート」事業を拡充した、小学校入学時の「セカンドブック事業」、中学校入学時の「サードブック事業」につきましては、平成30年度の実施以来児童・生徒、保護者、また教育委員の会議や市民の皆様へたいへん好評をいただいておりますので、今後も継続していきたいと考えております。
12	35	「瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール」「和田英作・香苗記念絵画コンクール、「夢と感動を育むギャラリー」等の事業が効果的なので、続けてほしい。	両事業とも、今後も継続して実施したいと考えております。なお、「子供たちの夢と感動をはぐむギャラリー」につきましては、令和2年度より垂水高校生の作品も掲示する予定です。
13	36	学校、家庭、地域、学校給食センターが連携し、子どもたちが心も体も健やかに成長できるよう取り組んでいくことが大切である。	今後も地場産物を取り入れた給食を実施し、安全・安心でおいしい給食の提供に努めてまいります。
14	41	垂水の子どもたちが英語に親しみ、コミュニケーション能力を高める取組に期待する。	英語力向上は本市の教育課題の一つであり、その解決に向けた施策・事業の更なる充実に努めてまいります。

案件名「垂水市教育振興基本計画(案)」

NO	ページ番号	意見等の概要	市の考え方
15	41	PDCAサイクルを回す際の、目標となる客観的な指標は何になるのでしょうか。また、PDCAサイクルを回す際の具体的な学力向上目標は何でしょうか。	客観的な指標としては、県教委が作成した「学びの羅針盤」や垂水市教委が作成した「垂水市授業モデル」等があります。具体的な学力向上目標については、各学校が子どもたちの実態を踏まえて設定します。
16	42	特別支援学校は県立学校であることから、その書きぶりを少し変えた方がよいのではないのでしょうか。	分かりやすい表現に修正します。
17	43	定年延長や雇用の流動化が進むことが予想される未来を生きる子どもたちに、自身の生活・利益・権利をまもるためにもキャリア教育の一環として、労働法制・雇用保険などの知識をしっかりと学ぶ場が必要ではないのでしょうか。	学習指導要領を踏まえ、子どもたちの発達の段階に応じながら、社会科において労働者の権利等の学習、学級活動において働く意義等について学習しております。
18	43	来年度から、全学校で取り入れるよう言われている「キャリア・パスポート」について、キャリア教育に触れてはどうでしょうか。キャリア教育の中で行う「夢と感動の教育」はとても素晴らしいと思います。	具体的な方策等、詳細につきましては、各種研修会を通じて啓発を図ってまいります。
19	54	管理職も含めた教職員の資質向上に向けて、九州や全国の研究大会に参加できるよう支援をいただけるように希望します。	教職員の資質向上に向けた支援の充実に努めてまいります。
20	58	学校施設の安全確保に期待します。学校の安全・防災体制を整えるとともに、関係機関との連携を深めていく必要があると感じます。最近の桜島の状況を考えて、こまめな情報提供等、連携強化を期待しています。	子どもの安全・安心の確保に向けて、今後も関係機関との連携を深めてまいります。
21	59	諸事情を抱える家庭について、福祉側から積極的に学校教育現場に情報発信を行い、相互連携が充実するようにしていただきたい。	今後も関係部局との連携を深めてまいります。
22	61	スクラップ&ビルドを計画的に推進し、各事業の付加・削除・統合をしつつ、よりよい学校づくりの推進となるようにしていただきたい。	スクラップ&ビルドを含め、よりよい学校づくりの推進に努めてまいります。
23	64	自然体で地域の協力をいただくという視点から、登下校時の「ながら見守り」について触れてみてはどうでしょうか。啓発の意味を込めて。	地域や保護者の協力をいただけるよう、依頼に努めてまいります。
24	75	教育振興計画の理念を踏まえつつ、よりよい教育活動のために何ができるかを重視し、点検・評価としてPDCAサイクルを効果的に活用しつつ、垂水市の子どもたちを育てていただきたい。	事業・施策の成果と課題を検証し、より一層取組を充実させてまいります。
25	75	鹿児島市のベッドタウンを目指すには、やはり高校受験の枠組みを垂水市から鹿児島市へ受験できるような目標を立てるべきである。	高校受験の枠組みについては、県教育委員会の所管事項となっております。

※パブリックコメント数 10名 28件(うち3件についてはよい計画がなされている等の意見のため掲載せず)

垂水市教育振興基本計画(案)の修正等

NO	ページ番号	パブリックコメント前	パブリックコメント後
4	17	学習障害____や注意欠陥多動性障害____、高機能自閉症等	学習障害(LD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)、自閉症スペクトラム等
5	18	年齢層によりばらつきがありますが、ほぼ同様の傾向を示しており、	上まわっている学年もあれば、下まわっている学年もあります。また、
16	42	特別支援学校においては、幼児児童生徒の障害特性や教育的ニーズ等に応じた指導・支援の一層の充実を図るための教職員の専門性の向上に努めるとともに、地域や関係機関等との連携を強化した職業教育等の推進を図ります。	幼児児童生徒の障害特性や教育的ニーズ等に応じた指導・支援の一層の充実を図るため、特別支援学校との連携と教職員の専門性の向上に努めます。
17	43	児童生徒が_____キャリア教育に係る活動を記録し蓄積する教材等の活用促進を図ります。	児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に係る活動を記録し蓄積する「キャリア・パスポート」の活用促進を図ります。
7	54	質の高い教育を持続発展させるために、_____学校における業務改善を実質的かつ着実に推進します。	質の高い教育を持続発展させるために、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たすことにより、学校における業務改善を実質的かつ着実に推進します。
23	64	学校・家庭・地域・警察等の関係機関が連携して、	学校・家庭・地域の方々、警察等の関係機関と協力して、